

おほとものすくねやかもち
大伴宿禰家持、
さかのうへのいへおほをとめ
坂上家の大嬢に贈る歌一首

一四四八番

我がやどに 蒔きしなでしこ いつしかも 花に
咲きなむ なそへつつ見む

おほとものたむらのいへ けのおほをとめ
大伴田村家の毛大嬢、
いろとさかのうへのおほをとめ
妹坂上大嬢に与

ふる歌一首

一四四九番

茅花抜く 浅茅が原の つほすみれ 今盛りなり
我が恋ふらくは

おほとものすくねさかのうへのいぢつぢ
大伴宿禰坂上郎女の歌一首

一四五〇番

心ぐき ものにそありける 春霞 たなびく時
に 恋の繁きは